

国際カルテル対応の最前線

～米国・欧州の最新実務～



名古屋：5月28日(木) 14:30-16:35

マリオットホテルアソシア17階 桐の間

東京：5月29日(金) 14:30-16:35

富国生命ビル28階会議室

お申し込み

○対象：

経営者、役員、法務・コンプライアンスに携わる方々など

※主催者と競合企業の方はご遠慮いただいております。

※当日は、名刺を2枚ご持参ください。

○お申込み方法：

seminar@hibiya-nakata.com に、氏名・所属・役職・電話番号・メールアドレスを明記の上、お申込み下さい。

○問い合わせ先

日比谷中田法律事務所

TEL:03-5532-3100

近年、国際カルテルに対する取り締まりが非常に活発になっています。不幸なことに、調査の対象となっている企業の多くが、日本企業です。

現在の米国その他の当局の最大の関心分野は自動車周辺部品業界ですが、その対象は電子部品業界やヘルスケア業界にも広がっており、米国や欧州で事業競争を行っている日本企業であれば、どのような業界に属する企業であっても国際カルテル調査への潜在的なリスクを抱えているといえます。

実際に調査に巻き込まれてしまった場合、担当者は、膨大な調査対応作業に加え、多様な社内での調整を行う必要が生じます。特に、カルテル調査においては、マネジメントが、現地でのスタンダードをしっかりと理解した上で、局面局面で、重要な判断を下さなければなりません。グローバルな実務と日本企業の意思決定の在り方の両方を理解する日本人専門家が、担当者をフルにサポートし、必要に応じてマネジメントに直接アドバイスをすることが適切な調査対応の鍵になります。

本セミナーでは、実際に現地で米国司法省と直接対峙した経験を持つ日本人弁護士が、米国・欧州のそれぞれにおいてトップクラスの経験と実力を有するスター弁護士を招いて、米国及び欧州における国際カルテル対応の最前線について、現在進行中の実務を解説します。

2015年4月13日-16日に行われた
全米法曹協会(ABA)の独禁法部会で当局担当者らから得た
最新情報も併せてレポート

プログラム/スピーカー

- 1) 挨拶 / 中田順夫
- 2) 日本企業による国際カルテル調査対応の秘訣-現地最新事情を踏まえて
/山田広毅
- 3) 米国におけるカルテル民事訴訟の最新実務
- 日本企業が注意すべき落とし穴-
/ Eliot A. Adelson
- 4) EUカルテル対応の実務 - 米国手続との対比を中心に-
/ Jurgen Schindler

※ 英語のプレゼンテーションについては、日本語への都度要約を行います。



中田 順夫氏
(Nobuo Nakata)

日比谷中田法律事務所
代表パートナー弁護士。
国際 M&A を中心とした
国際法務案件につ
いて、極めて豊富な経験を
有する。



山田 広毅氏
(Koki Yamada)

日比谷中田法律事務所パ
ートナー弁護士。国際カル
テル案件において米国司法
省や FBI の捜査官と直接
対峙した経験を有し、本年
4 月に行われた ABA の独
禁法部会にも出席する等、
国際カルテルの最新実務に
明るい。



エリオット・アデルソン氏 (Eliot A. Adelson)

カーkland・アンド・エリス法律事務所
(Kirkland & Ellis LLP) パートナー弁護士。日
本企業によるカルテル調査対応及び民事訴訟
の対応について、豊富な知見を持つ。



ユルゲン・シンドラー氏 (Jurgen Schindler)

アレン・アンド・オーヴェリー法律事務所 (Allen
& Overy LLP) パートナー弁護士。ブリュッセル
オフィスに勤務し、アレン・アンド・オーヴェリー
の独禁法プラクティスの中核を務める。

問い合わせ先 : 日比谷中田法律事務所 TEL:03-5532-3100